

# 巻頭言

新年明けましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願い致します。

2012年という新しい年が明けました。昨年は東日本大震災という未曾有の災害に見舞われましたが、今年は一体どのような年になるのでしょうか。ヨーロッパの通貨危機など不安なこともあります。2012年は日中国交正常化40周年にあたります。日本中医学会にとっても記念すべき年といえるでしょう。1972年、中国を電撃的に訪問した田中角栄元首相は周恩来元首相と会談し、中華人民共和国と国交を正常化する日中共同声明に調印することになりました。その後、様々な分野において日中間の交流が生まれましたが、中医学もその一つです。日本人が中国に渡り本場の中医学を学び、また中国からは老中医が日本で講演するという時代が到来したのです。このような交流が現代日本の中医学の基礎になっているのです。日本中医学会としても日中間の学術交流をますます盛んにしていきたいと願っています。

さて、本号は2012年最初の日本中医学会雑誌です。原著は2編ありますが、一つは昨年の学術総会のシンポジウム「中医学で難病に挑む」で発表された土方康世先生が論文としてまとめられたものです。もう一編は中国からの投稿論文です。本学術雑誌にとって初めての一般からの投稿論文ですが、漢方薬のパーキンソン病に対する効果を検討した興味深い研究です。査読を経て掲載されており、科学的レベルの高い論文です。その他に、好評連載中の呉深涛教授の総説「糖尿病性腎症の中医弁証論治」、北川毅先生による「中医美容入門⑤／五臓と美容(3)～脾の特性と美容～」、柴山周乃先生の「日本人中医診療記 その5」が掲載されており、充実した内容になっています。

2012年1月  
日本中医学会理事長  
日本中医学会雑誌 編集委員長  
酒谷 薫